



山 田 洋 子
(柊の会)

奥入瀬溪流エコツーリズム 推進全体構想認定の効果は

ブランド力、集客力向上に期待

問 地元関係者の尽力により令和6年5月に環境省等から認定を受けた奥入瀬溪流エコツーリズム推進全体構想により、地域に根づく自然や文化の価値を守りながら、その魅力を観光振興として有効に活用する取組につなげてほしいと考えるが、期待される効果は。

答 本構想は東北初の認定となり、当エリアのブランド力向上や、国においても積極的に周知することで集客力向上が期待されることから、観光客や地域住民、事業者などに広く周知し、理解が深まるよう取り組みたいと考えています。

問 令和6年3月、国から示されたガイドツアーの観光客輸送の規制緩和に関するガイドラインに対する市の対応は。

答 ガイド事業者が個人車両でツアー参加者の送迎を行う場合、道路運送法上の許可が不要となったことから、本格的な観光シーズン前に、観光事業者等を対象に、実施条件や注意事項等に関する研修会を開催したいと考えています。

問 第一中学校の移転作業の実施状況は。

答 令和5年11月末から令和6年3月末にかけて引っ越し作業を計5回実施し、業者委託も活用しつつ、滞りなく完了しました。

問 第一中学校の運動場を整備する考えは。

答 運動会開催前に転圧をかけて対応しましたが、他校に比べ行き届いていない面はあると考えており、教育活動に影響がないよう対応したいと考えています。

問 小中学校運動場からの土ぼこりに対し、保護者や近隣住民から苦情はないか。

答 市街地に立地する学校を中心に、年1、2件の苦情等があり、学校において水まきや防塵剤の散布により対応しています。



山 端 博
(明政一心会)

買物支援のため 移動販売は今後重要では

市民への情報提供に努める

問 高齢者人口が増える中、家の近くで買物ができることへのニーズは高まっていると思うが、過去3年間の移動販売業者数の推移は。

答 下表のとおり。(単位:事業者)

(令和) 年度	4 年	5 年	6 年
弁当・食料品の配達	6	8	8
生活用品の配達	5	5	5
移動販売 (移動車数)	1 (3 台)	1 (3 台)	1 (4 台)

問 移動販売事業に対する市の考えは。

答 市街地まで買物に行くことが困難な高齢者にとって移動販売は今後も必要であり、重要な生活支援サービスであると認識しています。引き続き民間事業者の情報を収集し、実施事業者を掲載した生活支援情報誌「ぐれっと」による市民への情報提供に努めたいと考えています。

問 スポーツ少年団の団体数と団員数の推移は。

答 下表のとおり。

(令和) 年度	元年	2 年	3 年	4 年	5 年
団体数 (単位:団体)	30	30	30	26	25
団員数 (単位:人)	588	561	561	518	535

問 スポーツ少年団に対する市の取組は。

答 市スポーツ少年団本部に対し、活動を支援するための補助金を交付しています。市スポーツ少年団本部では、スポーツ少年団が所管する県大会以上の大会参加料や、指導者の資格取得のための講習会受講料等の支援を行っています。

問 団員数拡大に向けて、募集案内等の掲示場所を提供する考えは。

答 学校や市の施設への掲示は快く進めていきたいと考えています。